

「立ち寄りたくなる」「働きたくなる」田代小 になっているのかなあ・・・

校長 下川床 光浩

3学期に入って、立て続けにたくさんの方々をここ田代小にお迎えしました。1月の「阿久根市道徳教育研修会」の会場になったことと、2月の「からつ七つの島活性化協議会」の研修視察が行われたことです。(詳しくは、下記の記事をご覧ください。)

子供たちや我々教職員にとっては、たくさんの「ひと」と田代小で交流したことはとても有意義な経験となりました。特に、視察では、「田代校区区長会長、アオバズクの里山村留学実施委員会委員長」本和彦さん、「田代カッセイ会事務局長」芝越博美さん、「アオバズクの里山村留学里親」東久友さん、中野秀明さん、中野成子さんにお忙しい中ご参加いただき、唐津の皆さんと冷える体育館で、2時間にも及ぶ熱い意見交換をすることができました。ご参加いただいた、全ての皆さんに心から感謝です。

さて、両会合で来られた方々にアンケートを取らせていただきました。その一部を紹介します。(主だった意見を集約しました。)

【阿久根市道徳教育研修会】のアンケートから

素直な子供たち、素晴らしい環境の中での授業、とても勉強になりました。大人数に囲まれても、多くの意見を堂々と発表しているところがとてもすごいと思いました。また、ICTの活用にとっても慣れていて感心しました。川野先生、とても素晴らしい授業ありがとうございました。少ない人数で、職員が何役も担って頑張っている姿に「チーム田代」を感じました。

【からつ七つの島活性化協議会研修視察】のアンケートから

地域の方々や学校の協力体制が素晴らしいと思いました。地域の方々、先生方の人柄が素直な子供たちを育てているのだなと感じました。仲のいい6人の子供たちの笑顔がとても素敵でした。小さな学校だからこそできる充実した教育は、とても魅力的だと思います。このような環境はずっと残していくべきだし、誇れるものだと思います。本日の交流が、自分たち「からつ七つの島活性化協議会」の活動を進めるうえでとても勇気となりました。唐津にお越しの際は、ご案内しますのでぜひ声をおかけください。

などなど、たくさんの温かいお言葉をいただきました。唐津の方々に、「あくまき」「ふくれがし」も好評でした。

さて、アンケートの最後に道徳研修会に来られた先生方に「田代小で働きたくなりましたか」、唐津の方々に「田代小にもう一度立ち寄りたくなりましたか」という一風変わった質問をしてみました。両方とも短い滞在時間での回答でしたが、「働きたくなった」は10名/21名中(11名無回答)、「立ち寄りたくなった」は13名/14名中(1名無回答)という結果でした。この数字をどうみるか。この1年間目標としてきた「なるなるなるなる田代小」。その成果をしっかりと見つめなおして、また来年度に繋げていきたいと思えます。

「たくさんの先生(ひと)に囲まれて・・・」阿久根市道徳教育研修会

1月23(木)に「阿久根市道徳教育研修会」が本校でありました。

当日は北薩教育事務所や阿久根市教育委員会の指導者、阿久根市やさつま町の教員など、25人の方々に来校されました。授業を提供したのは3・4年学級(川野慎一郎先生)です。内容は「友達のことを考えて」という資料を使い、「友情・信頼」について学習しました。資料の内容は「転校していったかつての友達から手紙が届いた。しかしその手紙は料金不足であり、主人公は不足分の料金を支払わなければならなくなった。主人公はその友達に、料金不足であったことを伝えるかどうか悩む・・・。」というものでした。

「本当の友達なら料金不足だったという伝えにくい内容を伝えても、きっと分かってもらえる」という考えと「料金不足を伝えたらきっと正子は傷つくだろうな」という考えで、子供たちは葛藤します。3・4年生の子供たちは、それぞれの考えをしっかりと根拠と共に発表しました。

発表する方法として、新たに導入されたタブレット型パソコン(ICT機器)を使用しました。来られた先生方から「タブレットを使い慣れている姿に驚きました」とお褒めの言葉をいただきました。これからもICT機器などを使ってさらに学習を充実させていきます。



地域の活性化について、熱く語りました!

2月4日(火)に「からつ七つの島活性化協議会」(佐賀県唐津市)11名、唐津市役所2名、佐賀県庁1名の計14名が、田代小学校を視察に来られました。「魅力ある学校を作るために、地域とどのように関わればよいか」「田代校区では山村留学制度をどのように進めているか」などについて研修を深めたいとの視察でした。

まず、子供たちの大正琴の合奏などを聞いていただき、校長が「学校と地域の協力による豊かな体験活動」についての説明を行いました。

その後交流会を行いました。山村留学についての話で、久友さん、秀明さん、成子さんの「子供の声のないところに地域の繁栄はない。」「里親一人で子供の面倒を見るのではなく、地域みんなで見守っていく体制が大切だ。」という言葉が重く響きました。また、和彦さんや博美さんには、学校と地域のつながりの歴史や田代活性化に向けての想いも熱く語っていただきました。

交流会は予定を大幅にオーバーし2時間にも及びました。これを機会に、これからお互い連絡を取り合い、地域の活性化に向けて頑張っていこうと語りながらお見送りすることでした。



「食べること」「食べ物」はとても大切です

給食週間

1月20日(月)~24日(金)は給食週間でした。給食センターの栄養教諭吉元先生が、栄養素について指導を行い、校長先生との会食を行ったりと、一週間を通して食について考える良い機会となりました。

学習の中で、「鹿児島県が生産量第一位の食品は?」という質問がありました。「ブロイラー」「ぶり」「そら豆」「うなぎ」などが日本一だそうです。鹿児島にはおいしい食べ物がたくさんあります。給食週間を通して、食べ物についてしっかりと考えていこうという気持ちをもつよいきっかけになりました。



田代っ子 これからも活躍します!

「令和元年度阿久根市体育協会優秀選手表彰」5年 楠田ゆうな

「第35回全国小学生陸上競技交流大会」に出場し、5年女子100m走で第2位になったことや県大会での新記録などの活躍が認められての表彰です。輝け!一人一人の個性!田代っ子!



2月・3月の行事予定

- 2月17日(月) 県一周駅伝の応援
- 18日(火) 第3回学校関係者評価委員会
家庭教育学級(木工作品作り)
- 28日(金) お別れ遠足
(ひさかき植樹体験・ぼんたん刈り)
- 3月3日(火) なわとび大会・学校保健委員会
臨時PTA総会・学級PTA
- 17日(火) 学校応援団お礼の式
- 24日(火) 第73回卒業式
- 25日(水) 修了式 合同送別会(予定)